【JUASラボ】「エフェクチュエーションによる企業内起業活性化」～起業家の行動にはパターンがあった～（4719003）

社内起業、新規事業開発の検討に活用できる「エフェクチュエーション」最新研究成果を元に、実例・体験を交えて起業家マインドを解かりやすく説き起こします。

開催日時	2019年5月10日(金) 15:00-17:00
カテゴリー	事業戦略策定・事業戦略評価　IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 専門スキル
講師	森出茂樹 氏 （Singular Technologies 代表 ） 経営・技術コンサルタント。 技術視点と経営・企画視点でのイノベーションが専門領域。 前職富士通株式会社では、AI関連部門をまたぎ企画・研究・開発を行うと共に、社内外累計500余名にディープラーニング教育を実施。実務者コミュニティ構築なども推進。その他ARを始めEclipse FoundationでのProject設立など新プロダクトの企画・推進を行う。過去から未来を予測できない状況でイノベーションを起こす「エフェクチュエーション」を経験をもとに普及活動中。 2018年 Singular Technologies設立 日本流通自主管理協会 技術顧問 Anamorphosis Networks 顧問 成城大学 非常勤講師
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：3,000円 一般：3,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	新規事業開発を検討されている方 新しいアイデアを生み出したい方 初級
開催形式	講義
定員	30名
取得ポイント	※JUASラボはITC実践力ポイント対象セミナーではありません。

主な内容

「エフェクチュエーション」とは、2008年にインド人経営学者、サラス・サラスバシーが体系化した「優れた起業家に用いる意思決定の理論」です。

優れた起業家の特徴は、生まれ持った気質や性格、環境、時代背景などによって説明されることが多く、一般化することが難しいと言われていました。

2008年、インド人経営学者のサラス・サラスバシーが優れた起業家には共通の思考プロセスがあることを発見・体系化し、それを「エフェクチュエーション-市場創造の実効理論」として、発表しました。

「エフェクチュエーション」は、現在、世界で350を超える大学がテキストに採用し、経営学のトップジャーナルや学会で多く議論されています。一言でいえば、「エフェクチュエーション」は、過去の情報から未来を予測できない状況でイノベーションを生み出す理論で、起業のみならず、新規事業開発を検討の際にも一助となります。

実際に、前職で社内でのARビジネス立ち上げを始め、Eclipse FoundationでのProject 設立など、社内イノベーターとして活躍し、現在は人工知能分野で活躍している講師が実体験をもとに、この理論に迫ります。